

次期創生総合戦略の基本目標(案)について

国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」においては、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指し、デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上に向け、「地方に仕事をつくる」「人の流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「魅力的な地域をつくる」という4つの取組を進めていくことが求められている。

これを受けて、本市においても、次期創生総合戦略では、これまでから行ってきた地方創生の取組について、デジタルの力も活用し、さらに発展させていくこととする。

また、第6次総合計画に基づき、「一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治」の実現に向けて幅広い施策に取り組んでいる中で、創生総合戦略においては人口減少と少子高齢社会への対応を柱として、地方創生に効果的な取組を位置づけて推進することとする。

上記を勘案するとともに、第1期・第2期創生総合戦略の状況を踏まえた上で、本市の特色を最大限に活かした要素を盛り込み、次の5つを基本目標とする。

5つの基本目標(案)

1. 『新たな時代の宇治ブランドの向上』

2. 『希望をかなえる

子育て・子育てにやさしいまちづくり』

3. 『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』

4. 『活力あふれる産業振興と

多様な働く場の創出』

5. 『未来を拓く都市基盤の整備』

基本目標 1 『新たな時代の宇治ブランドの向上』

POST コロナ時代においても、「宇治茶」「源氏物語」をはじめとした歴史や文化などの伝統的な観光資源を活用し、宇治ブランドの魅力発信を行うとともに、新たな観光資源の創出や多様な主体との連携による広域的な情報発信・誘客促進に取り組むことで、本市への興味・関心につなげ、観光客をはじめとする交流人口の増加を図る。

また、実際に本市を訪れるだけでなく、多様な関わり方ができる仕組みを構築し、本市と継続的に関わる関係人口の増加につなげるとともに、宇治に住みたい思いを醸成し、転入者の増加につなげ、人口減少に歯止めをかけることを目指す。

■具体的な取組

多様な主体と連携した魅力発信 豊富な観光資源の魅力の再発見 新たな観光資源の創出
体験型観光の促進

基本目標 2 『希望をかなえる

子育て・子育てにやさしいまちづくり』

子育て世代の本市への移住・定住につなげていくためには、宇治で結婚・出産・子育てをしたいと思えるイメージの形成とそれらの実現に向けた支援及び環境づくりにより、住みたい、住み続けたいまちになることが必要である。

子育て世代の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられるまちをつくるため、地域で子育てを支える仕組みづくりや子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進するとともに、一人ひとりの学びを最大限に引き出す教育施策の充実・強化と教育・学習環境の向上を図る。

■具体的な取組

若い世代の就労支援 結婚・出産支援 子育て環境の充実
学校教育の充実 家庭・学校・地域の連携・協働促進

基本目標 3 『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』

人口減少に歯止めをかけるためには、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることが重要である。

市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、行政のみでなく市民自らが、地域のつながりを大切にし、様々な人々が共生する魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治に住み続けたい思いへとつなげ、定住の促進を図る。

■具体的な取組

地域コミュニティの活性化 多様な主体の共生社会づくり 健康づくりの推進
多文化共生の推進

基本目標 4 『活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出』

若年層の定住促進のためには、近隣での多様な働く場の創出が重要であり、市内産業への支援を実施することにより、市域内雇用の創出と拡充を促進するとともに、若者の雇用や起業に対する支援を行う必要がある。

市内産業が持続的に成長、発展するまちの実現に向け、市内産業の成長支援や事業者間の連携促進、新たな産業の創出に向けた起業支援などに取り組むことにより、市民や地域生活を支える地域経済の活性化を目指す。

■具体的な取組

市内企業の成長支援	事業者間や産学等の交流・連携の強化	新たな産業の創出
産業基盤の整備	人材確保と勤労者支援	

基本目標 5 『未来を拓く都市基盤の整備』

市外から通勤・通学、観光など様々な目的で本市を訪れる人(滞在人口)を増やし、地域経済の発展を支えるため魅力的な景観の保全や広域的な道路ネットワークの強化に取り組むとともに、市民生活の利便性や安全性の向上に向けた既存公共交通機関の維持や新たな移動ニーズへの対応、駅や周辺道路のバリアフリー化の推進など、未来の宇治の発展につながる都市基盤整備により、まちの活性化を図る。

■具体的な取組

文化遺産・景観の保護	地域の活性化につながる道路整備	移動しやすい交通環境の充実
暮らしやすい都市づくり		